

前立腺がん患者の健康と病いの語りの分析

—スピリチュアリティに着目して—

丹後 キヌ子 itou たけひこ

I はじめに

全国がん登録罹患数・率報告（厚生労働省，2018）によると、日本人男性において前立腺がんの罹患率は第1位であり¹⁾、がんの統計2021（CANCER STATISTICS IN JAPAN, 2021）による年齢部位別がん死亡数割合は、65歳以上の老年期でその割合が増加している²⁾。前立腺がんは世界的に罹患率の高いがんであり、中高年に多く見られる。近年、わが国において高齢化社会の到来・食生活の欧米化に伴い、また、診断法の進歩によって早期発見が可能となったことも影響し、前立腺がん患者は増加している。山崎ら（2019）は、前立腺がんの早期発見が可能となり、前立腺全摘術を受ける患者が増加していることをふまえ、前立腺全摘除術後患者の尿失禁の自覚的重症度およびQOLとセルフケア実施状況との関係を明らかにすることを目的に調査した。その結果、手術後の主な合併症に性機能障害と排尿障害（尿失禁）があり、日常生活の支障となることを示し、Quality of Life（生活の質：QOL）が低いことを明らかにした³⁾。このように前立腺がん患者のQOLを検討するには身体的・心理的・社会的な観点に加え、性機能障害による男性性の喪失などセクシュアリティも含めたスピリチュアルな面が重要である。WHO（世界保健機関）は、その憲章前文のなかで、「健康」を「完全な肉体的、精神的及び社会的福祉の状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない。」と定義してきたが（日本 WHO協会，2021）⁴⁾、平成10年のWHO執行理事会によるWHO憲章全体の見直し作業の中で、「健康」の定義を「完全な肉体的（physical）、精神的（mental）、spiritual（霊的）及び社会的（social）福祉のdynamicな状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない。」と改めることが議論された⁵⁾。Dynamic（動的）は、健康と疾病は別のものでなく連続したものであるという意味付けから、Spiritual（霊的）は、人間の尊厳の確保や生活の質を考えるために必要で本質的なものだという観点から提案された⁵⁾。この提案は未だ議論中であり採択されていないもののスピリチュアルな側面、すなわちスピリチュアリティは人間の尊厳の確保やQOLを考えるために必要な本質的なものであるといえ、前立腺がん患者の語りからスピリチュアリティを解明することは前立腺がん患者のQOLの向上に向けた看護を検討するうえで重要であると考えられる。

itou・大高（2014）は、乳がん患者および前立腺がん患者の語りをディベックス・ジャパンのインタビューデータに基づいてテキストマイニング分析をおこない、その中から前立腺がん患者固有の語りの特徴として治療の結果から生じる問題に関連した単語が多いことを明らかにした⁶⁾。「健康と病いの語りディベックス・ジャパン」（通称：ディベックス・ジャパン）は、英国オックスフォード大学で作られているDIPEX（Database of Individual Patient Experiences）をモデルに、

日本版の「健康と病いの語り」のデータベースを構築し、それを社会資源として活用していくことを目的として作られた特定非営利活動法人（NPO法人）である。患者の体験からの語りには、その時の思いや価値観、人生観や死生観が反映されることから、語られた内容からスピリチュアリティが読み取れると考えられる。

丹後ら（2019）は、スピリチュアルペインに関する日本語の看護論文のタイトルをテキストマイニング分析し、日本におけるスピリチュアルペイン研究の変遷から、スピリチュアルペインに関する研究は質量ともに発展してきていることを明らかにしたが、スピリチュアリティの検討は十分ではなかった⁷⁾。スピリチュアリティを明らかにするためには、患者の体験に基づく生の声を聴く必要がある。そこで本研究では前立腺がん患者の体験に基づく生の声を集めたデータベースであるディベックス・ジャパンのインタビューデータ「前立腺がんの語り」の二次利用をおこない、他の出版物も参考にしながら前立腺がん患者のスピリチュアリティを明らかにすることを目的とする。

II 研究方法

1) 用語の定義

本研究のスピリチュアリティとは、窪寺（2004）の定義を引用し、「危機の時に“存在の枠組み”と“自己同一性”を超越的なものや究極的なものに求める機能」とした⁸⁾。

2) 分析対象

分析対象者は、認定NPO法人 健康と病いの語りディベックス・ジャパンよりデータシェアリングを受けた前立腺がん患者52名による語りのデータ（資料）とした。

3) 分析方法

(1) テキストマイニング分析

テキストマイニング分析は以下の手順で行った。

- ① 前立腺がんの語りのテキスト（文字データ）には、質問者・施設など同伴者の逐語が含まれていたが、分析対象から除外した。Microsoft Office Excelによりテキストマイニング用にタブ区切り（TCV）データを作り、Text Mining Studio Ver.7.0に読み込ませた。
- ② 単語頻度解析を行った。スピリチュアリティと思われる単語を取りこぼさないようにするため、解析の頻度フィルタ設定を1回以上とした。その結果をもとに、スピリチュアリティと推察できる単語について検索し、原文参照機能を用いて文脈から言葉の意味を読み取り、質的にスピリチュアリティの分析をおこなった。貸与を受けた前立腺がんの語りのテキストデータは、本研究目的を明らかにするためにインタビューされたものではないため、原文に戻り文脈を読み取ることで、スピリチュアリティと思われる言葉を抽出した。
- ③ 原文参照では、前述したスピリチュアリティの定義から前立腺がんの語りの中で、危機の時に体験する「悲嘆」、「喪失感」、「絶望感」などの【感情が表現されていると思われる形容詞】

として、「悲しい」、「情けない」、「悔しい」、「寂しい」、「虚しい」を、【“存在の枠組み”と“自己同一性”を超越的なものや究極的なものに求めていると思われる言葉】として、「存在・存在意義」、「根源的・根源性」、「自分らしく・自分らしさ」、「男らしく・男らしさ」、「男性機能・性機能」、「神・神様・神さま」「仏・仏様」、「自然」、「宇宙」を、【生き方や人生観、死生観などが表現されている言葉】として、「死」、「天国」、「あの世」、「生きる・生きて」、「命・生命」、「人生」、「希望」、「感謝」、「生きがい・生き甲斐」という単語を検索し、文脈を読み取りカテゴリー化した。

4) 倫理的配慮

本研究は、認定NPO法人 健康と病いの語りディベックス・ジャパンより「健康と病いの語りデータアーカイブ」のデータの利用許可を得て実施したため、倫理的配慮は確保できたものとする。

Ⅲ 結果

1 テキストマイニングによる分析

1) 分析対象者の概要

分析対象者の概要は、男性52名、前立腺がんと診断された時の年齢が47歳～83歳、インタビューは2007年～2009年に行われており、その時の年齢は52歳～85歳だった。病期は初期がん～末期がんと様々であり、グリソン・スコアは6～9であった。治療法も、外科的療法、化学療法、ホルモン療法、免疫細胞療法、放射線療法など様々であった。

2) 単語頻度解析

前立腺がんの語りの単語頻度解析データの詳細は、データ行14,258行、総文章数53,015個、述べ単語数は406,136個であった。

前立腺がんの語りの単語の中から、危機の時に体験する「悲嘆」、「喪失感」、「絶望感」などの【感情が表現されていると思われる形容詞】の「悲しい」は0回、「情けない」は8回、「悔しい」は2回、「寂しい」は0回、「虚しい」は0回であった。「情けない」「悔しい」の原文参照しスピリチュアリティが表現されていると思われるテキストを表1に示す。

「情けない」の前後の言葉は、「生きてたって何の意味もねえんかな」「死ぬんや、がん＝（イコール）死や」「ああ、もう駄目や」「何で私のがん」など、自分の存在意味の喪失感、がんの否認、自分自身の弱さに対する感情であった。他に、経済的なことや仕事が全うできないことへの思いであった。また、「悔しい」の前後の言葉は、「早く受ければよかった」「散々病院を転々とした」など、身体の変化に気づいていたが、受診行動が遅かったことや受診していたにも関わらず発見が遅かったことへの後悔や無念さであった。

表1 「情けない」「悔しい」の原文参照

行ID	ID	PC	テキスト	
1,794	1,794	10	がんセンターっていうのは自分ががんになってるって思うと、なんかがんセンターのとこなんかよう行かん、という <u>情けない</u> 感じで行きませんでした。	
2,320	2,320	14	何か、あの、あんまりなぐさめてもらおうとね、あの、自分の気持ちそのものが、あの、何か情けなくなっちゃって。何か、この先、生きてたって何の意味もねえんななんて。そういうふうを考えるようになっちゃうんじゃないですか。	
3,848	3,848	22	おやじの場合には、本当、自分ががんっちゃって恐らく分かってたんだろうと思います、本人は。その息子でありながら、おれは何と <u>情けねえ</u> やっちゃとかね。こうなってきたときに、またそれ、ぶり返して。	
情けない	3,952	3,952	22	男っちゅうのは <u>情けない</u> もんで、「ありや、もうおれは死ぬんや。がん＝（イコール）死や」ちゅうようなね
3,981	3,981	22	ゴーっともう、「ああ、もう駄目や」と思って。それ、やっぱはたで見ると、お母ちゃんにしてみたら、「何でこのおっさんはもう……。度胸のない、 <u>情けない</u> 男やな」ちってから、うん、だいふ、うん。	
4,031	4,031	22	金がないと気持ちも変わらん。何かこうやっていこうと思っていかんというのは、まあ、一番原点に戻った <u>情けない</u> 状況で。	
8,599	8,599	39	その学長になって、1年たったときなんですね。1年ぐらいいですね。だから、4年間やるというお約束で、1年でしょう。ここでほっぽり出すのは、いくら何でも <u>情けない</u> というふうと思うと、もう何かまあストレスとでもいいますかね。	
10,673	10,673	46	しかも周りにたくさんのがん患者を見ていながらね、それでもやっぱり自分ががんだ、がんという宣告をされたときには、自分ながら <u>情けない</u> なと思ったけど、「何で私のがん、その、前立腺がんにかかったのか」。	
悔しい	477	477	2	散々病院を転々としたところのことその瞬間思い浮かべました。 <u>悔しい</u> っていう思いは、ないとは言えなかったですね。残念だった、非常に自分としては残念だった。なぜなら、自分で気が付いていて、何かあるはずだということで求めていったわけですよ。…中略…まあ <u>悔しい</u> 思いは多少引きずっていたのかも分からないけど、まあそのことを考えても仕方がないと。
10,232	10,232	44	あの、あのときは、早く受ければよかったなというようなね、その後悔が一番ね、ほんとに <u>悔しい</u> 思いっていうのは、いっぱいいると思うんですよ。	

【“存在の枠組み”と“自己同一性”を超越的なものや究極的なものに求めていると思われる言葉】として、「存在」は12回、「存在意義」は1回、他に「存在感そのもの」が1回、「存在証明」が1回であった。「根源的」は3回、「根源性」は1回、「根源」は1回であった。「自分らしい」は2回、「男らしく・男らしさ」はなかったが「男らしい+ない」が1回、「男性+ない」が1回、「男性機能・性機能」は31回で「男性機能+ない」が2回、「神・神様・神さま」は26回、「仏・仏様」は8回、「自然」は55回、「宇宙」は2回であった。存在の枠組のスピリチュアリティが表現されていると思われるテキストの原文参照した結果を表2に、自己同一性のスピリチュアリティが表現されていると思われるテキストの原文参照した結果を表3、表4に、超越的なものとして自然や宇宙への関心が表現されていると思われるテキストを表5、表6に示す。

表2から「存在・存在意義・存在証明」の前後の言葉は、「自分の存在、尊厳さ」「自分がこの世に存在していた証みたいのが残したい」「自分の存在、存在そのものの意味といますか」「自分の存在の根源性」「自分の存在証明といますか、ああいう形でないとできない」など、自尊心や尊厳と関連していた。また、自分の生きた証を残したいという思いが語られていた。存在の「根源性」に関連する「根源的」の前後の言葉に注目すると、「根源的なものに、何かこう、呼応するもの」として、日本人の優しい歌の中にある「響」や「こだま」の中に一緒にいる感覚、つまり、響やこだまとの調和する感覚が語られていた。

表2 「存在・存在意義・存在証明」「根源・根源性・根源的」の原文参照

	行ID	ID	PC	テキスト
	1084	1084	5	ここで今放射線かけちゃったら、もしかしたらね、排尿困難かなんかも併発して、そしてそういうことと闘いながら生きるのも生き方もかもしれないけど。…中略…自分の尊厳をね、尊厳を保って生きていくには私はもう、これきりないだろうと、そういうつもりでした。だから命そのものは諦めたんです、手術できないと言われてたときにね。…中略…そう なっちゃった <u>自分の存在</u> 、尊厳さ、それは考えたくない、認めたくない。命を、放射線かけて、かけないでやったら、私は寿命を縮めるかもしれないけど、その寿命の中でね、私がいかに私らしく生きられるかっていうことを私流に考えた選択が「放射線は勘弁してください」っていう。
	8307	8307	38	数カ月の寿命ですよという通告を受けまして、そのショックはありましたけれども、…中略…数カ月の間にすることって 何かないかなと思いつつ、車いすの生活の中で考えて、そうか、自分の人生だから、自分がこの世に存在していた証明 たいなものに残したいなと思って。さあ、車いすで何ができるかなと思いつつ、好きな絵でも描いてみようかなと。何 枚描けるかなと思いつつはじめましたね。
存在・存在意義	8505	8505	38	あの…人間ね、わたしはずうって考えて、えーと、病院でも、その、もう数カ月ですよって言われてから、死っていうこ とに対して、死は何だろうということを考えながら、いろいろ、本も読んだりしましたけど。結局、結論はでませんの で、まあ、自分がこの世に存在した、証を一つ残せばいいなと思う意味で、私の友人で絵を描く方がありましてね。… 中略…じゃ、わたしも描いてみようかというのが、一つあったし。
	8565	8565	39	やっぱり精神的な落ち込みのほうが多い。心身がこう、相関ということがありますので、まあ精神的なつらさっていう のが、また、体に反映をいたしまして、まあそこで随分こころ痛みの問題といますか…。…中略…一番深い痛みのい いますか、自分の存在、存在そのものの意味といますか。まあスピリチュアルな痛みに呼ばれるようだけれども、ま あそういうところに向き合わざるを得ない。
	8593	8593	39	何にも本質的な、その先ほちょっと申し上げる、その、自分の存在の根源性、昔は実存なんて言葉を使ったかもしれま せんけど—…中略…まあ丸ごとの人間が、あの、「意味在り」というふうに感ずるんですね。…中略…こころ自分のアン テナに引っ掛かってくる、いろいろな知覚していますか、五感六感、空間時間概念まで全部含めてですね、そういう ものを、. . . 全部含めて、こころ、われわれの、とこでとらえられる直覚的な全体像といますか。…中略…何かこう大 きなもの、存在の、環境論なんかの根源の哲学があるかもしれません。哲学じゃなくて、あれは宗教じゃないかってね、 信仰じゃないかって思うんですね。特に、日本人はこう神道的っていうか、神道の感覚みたいなもの持っているから、あ の、一種の多神論でしょうか、多神論。
存在感そのもの	8500	8500	38	前立腺がなくなって、あの、自分の人生振り返ってみると、何をしてきたかなと。自分が、その生きてきて、その過去 に、自分の存在感そのものが、全くなくなったときに、あ、いたかなというぐらいの感覚しかないのに、これは自分がこ の世にいたことの証明というのかな、そういうのが、何か残したいなあと、…中略…それではと思って始めたのが、ま あ、絵を描くことだったんですけど。…中略…残るでしょう。だから、そのことが、ああ—自分の人生に、その価値観とい うのか、を、その見つける一つの何かを残したいというのが一つ頭にあって、それが、大きく変わりましたね。
存在証明	8630	8630	39	複雑さっていうか、そういうようなものが、あの、人を壊していく。うー、あの、まあ携帯なんかもそうかもしれない けども、壊していくものっていうのは非常に大きくて、うーん、情報がこころ肉声で伝えられないような時代になってい く、やっぱりこころ人間の心なんか切り裂かれるっていうか。あれも何か、あのう、リストカットや何かをする女の子た ちがいるわけですけども、そういう方たち、そういう方なんかはやっぱりどこか、あのう、こころ非常に、自分の 存在証明といますか、まあそういうものをあいう形でないといけない。
根源的	8593	8593	39	日本人の歌、優しい歌の中にね。あのう、そんなことを考えていたら、あの、美空ひばりさんの中に、あの、「リンゴ追 分」っていうのがあるんですね。…中略…途中で語りが入っているのがあるんですね。で、「津軽娘が泣くのは、東京 行っちゃったお母ちゃんが死んじゃったから」っていう語りが入っているんですね。で、それで初めて、あの、「リン ゴの花びらが散る、月夜の風に」っていうのは、母親への挽歌（ばんか）なんだっていうことが、初めてここで知ったん ですね。…中略…サブカルチャーっていいかもしれません。そんなもんじゃないんだって、やっぱり根源的なものに、何か こう、呼応するものをちゃんと、こころ発信してくれていたんだなって、そんなふうに思います。…中略…ただ、あの う、頭で分かってもどうしようもないんですね。だから、やっぱりその、あの、響きの中に入っていく、それが大 事。…中略…人と一緒にその響きをつくる。こだま、こだまの中に一緒に入るともいうか、その具体的なものは、実 は体を動かす。体が体を動かす、みんなと一緒に動かす。スポーツをやることなんかもいいんじゃないかなと僕は思いま すね。
	8632	8632	39	誰のおかげで、あなたは一番最初…大抵母親ですよ。誰に育てられたか。それから、それにどういってお返しをしたか。 それから、あのう、どんな迷惑を掛けたか。…中略…自分を夜も寝ずに看病してくれた母親が出てきたりするわけす ろ、関連して。…中略…自分が出てくるわけ。そうすると、何か根源的にね、…中略…ガラッと自分の何か人生観変えざ るを得なくなるっていうやり方なんですね。…中略…自然の中で草むしりするとき。あの、それで森の中を歩くとかっ ていうような形でもって、徐々に回復するわけでしょう。…中略…四季の移り変わりとか、自然現象の中とか、このごろ環 境論で言われるようなものの部分に触れるっていうか、…中略…人間の、こころ大きな揺り返しの一つとして、その環境論 というのがあるように思っていますけども。

表3 「自分らしさ・男らしさ」の原文参照

行ID	ID	PC	テキスト
2640	2640	17	えー、告知されましたときは、もう本当に慌てましたけども、まあ、ここで慌てたら男じゃないというようなことで、まあ、年相応の対応は表面上でできたと思うんですけども、頭ん中は真っ白でした。あのお医者さんの話も、恐らく半分程度しか理解できなかったと思います。まああの、「初期的ながんだと思うんで、完治は可能ですよ」というお医者さんの声を、背中にして、すごすごと、まあ、部屋を出たというようなことでございますが、まあ、そのとき考えたのは、「しっかりして、あと残り少ない役人生活を、何とか完全にやり遂げなくちゃ」と思って、そんな考え方をしておりました。まあ、そういうときには何か、自分を奮立たせるものが必要だという本能的なものがあるんですけども、後で考えると、「何でこの、そういうときに仕事のことしか頭に浮かばないっていうのは、退屈つまらないやつだな」と自分で思うようになりまして（笑）、じっくりその後の人生、治療も含めて考えたとき、「やはりこれからは、残り少ない人生、自分らしく、やりたいように生きていきたいな」というように、まあ、（そんな）感じにだんだん自分の気持ちも変わってまいりました。
2743	2743	17	どうでしょうね。支えになったというよりも、この病気を得たことによって、逆に自分の生き方っていうものを少しは真剣に考えれるようになったんじゃないかな。「残された人生、本当に自分らしく、一生懸命生きなきゃな。こんな病気に負けてたまるかな」っていうような、そんな気持ちが、あの、湧いてきたことが、逆に、あの、今のゆったりとした余裕のある生活を得ることにつながったのかなと思ってます。
3462	3462	20	まあ、別に男らしいところないから、どうってことないけど……、外見的に胸が大きくなったりね。まあ、こうなるのは今はやってるから、別に気にせんでもいいかなっちは思うとるけどね。うん。ただ言うだけで、いざとなったら、もうね、命にかかわるとなると、多少は我慢せなしょうがないから。だけえ、かといって何もせんで死ぬの待つのは嫌やし、ね。まあ、治療法があるんなら、治療はせなしょうがないと思うんでね。まあ、なったときよ。まあ、再発してしまったらね。うん。
1937	1937	12	人と、他の治療をした人との生存率で比べたときに、えー、10年生存率には差がないんですから、切らないでいるという方法もありますよ」とおっしゃるんですね。…中略…私の父が、実は80歳のときに同じように前立腺がんにかかって、…中略…いわゆる内分泌療法なんですけど、睾丸摘出をすることになりました。父は、「〇〇、おれは男性じゃなくなるんだね」、と一言ぼつりと言いました。なるほど男性としては睾丸を取られることは大変だなというふうに思った記憶があるんですけど、…中略…ですから、私もその方法を、おやじのことを思い浮かべたんですけど、実は私には、がん細胞が残っているということは非常に嫌で、…中略…がん細胞と仲良く暮らすというのは「江戸っ子の俺に党性に合わねえや」と。まあ私は割合にそういう点で偏った人間で、好きじゃないという人とは付き合いたくないと、了見の狭いわけでもないのですが、がん細胞とは付き合いたくないから、とにかくがん細胞は嫌。だから全部取ってほしい。

表3、4から、「男性機能・性機能」「自分らしさ・男らしさ」の前後の言葉は、「自分らしく、やりたいように生きていきたいな」「残された人生、本当に自分らしく、一生懸命生きなきゃな」など、自分らしさを問い、自分らしく生きることに向きあっていた。「男らしさ」については、男性機能を喪失することへの寂しさや残したいという強い思いが語られる一方で、執着しない、意識していなかった、性機能よりも命を優先したなどが語られていた。

表4 「男性機能・性機能」の原文参照

行ID	ID	PC	テキスト
3301	3301	20	まだ60代、60になったばかりぐらいだったんで、「まだ全部取ると、あの一、男性機能がなくなるから、半分だけ取るっっちゃう方法があるよ」って。もう60の後半、あるいはもう70になったら、もう全部取っても影響ないからだったんだけど。…中略…まあ、別に用事はないんだけど(笑)。男性機能なくなるとさびしいのかなっていう気があって。
8525	8525	38	年齢も、ま、60を過ぎていましたんで、まあ、とにかく、その男性機能の喪失っていうのに関しては、もういいか、というのの一つありましたね。年齢的な問題がありましたんで。ただ、若い方だったら、大変だなあとします。…中略…男性機能に対して執着もありませんでしたし。とにかく治すほう大前提でね、少しでもよくなるほう考えないかなというところで、とりあえず、まあ、それはいいですと、うん、それはしょうがないなということは思っています。…中略…私の場合は、もうとにかく、痛みとの戦いだったんで。まあ、その、そんなこと問題じゃないと。うん、天秤にかけた場合にね、うん、痛いというつらさはね、そりゃ、痛い人じゃないと分からないと思うんですけど、ええ。それが、つらかったですね。
8541	8541	38	いや、全然、もう、それは思いあたらないし。あの、生活そのもののリズムも、そうとんでもないリズムで生活していたわけじゃないしね。うん、難しいけど、そりゃ、今の男性機能が失われるっていう、大前提の治療の前には、そりゃ、男性でしたら、男性ホルモンが旺盛なほうがいいに決まっていますでしょ、うん。
10389	10389	45	先ほど、触れた関係とちょっと結びつくんですけども、わたし自身ですと、つまり、男性機能を保持するしないの、ある意味プライドみたいな部分がやっぱりあって、で、IMRTという放射線治療を受けた。…中略…やっぱり、男性機能をいかに保持した状態であるかというところを、最優先させているというようなことが、そっちこっちでもうすでに載っていますよ。それは、何かというですとね、やっぱり、そのがんに立ち向かう、がんと共に生きる上での、人間の心理をですとね、一番、まあ、肉体的な部分もそうなんですけども。それよりも、精神的な部分を優先する…まあ、医療っていいですけども、あの、心理的な医療のですね、重要さを日本の、..
12064	12064	49	そ、それはね、もう、手術のときに、あの、手術直前に、あの、はっきり言われました。あの、要するに残す方法もあるじゃないですか、その、あの、本なんかで見ると。だから、あの、それは、もう、あの、「男性機能は駄目になりますよ」って言われた。「あ、結構です」と返しました、はい、はい。
530	530	3	今から思うと、結局、ポイントはですね、確実に治る方法ですね。治療、治せる方法がどれなのかということと、もう一つは、副作用っていうか、治療によるダメージ。逆にQOL、生活の質というか、そういうのがいかに、確保できるかっていうことをすごく、まあ、大きくはその2点を問題にして考えたと思います。で、まあ、QOLの中でも、まあ、かなり、こだわったのは、性機能っていうか、勃起機能を失いたくないっていうのが実は強くあって。で、まあ、大体見るとですね、「放射線のほうが比較的それは残せますよ」という話がありました。
2565	2565	16	えーとね、EDって言われてるやつですね。…中略…私なんかの場合、高齢化による性機能の減衰っていうことは当然出てくるんですけども、特に放射線を受けることによる、まあ、意識したことがないですね、
7744	7744	34	手術の前ですね、性機能の障害につきましては、えー、主治医の先生からですね、えー、説明を受けましたし、…中略…で、そのときに、例えば、勃起障害とかですね、それが起こる可能性は、まあ、極めて高い。極めて高くて、それが起こるのが当たり前だ。で、えー、まあ、その一、先生からは説明受けましたし、「それに対する、対応につきましてはね、先生にお任せします」と。…中略…ただ、もう60、まあ、私のような年齢になりますとね、まあ、そういう、部分っていうのは、これから、まあそんな必要になることは、まあ、極めてゼロに、えー、近いですし、それゆえに、やっぱり、まだ、その一、がん細胞が残ってるんだと。あるいはまだ不透明な部分があるんだということは、やっぱり思いたくなかったと。従いまして、リンパ節も切るという決断を、まあした次第です。
7746	7746	34	そうですね。あの一、今の年代からですね、まあその一、誰かと結婚してどうのこうのということは、まあ、可能性は極めて少ないですし、そういう気持ちもありませんので、まあその一、前立腺の場合はですね、骨か、それからリンパ節かということで、骨のほうはもうちゃんと、それで分かっておりまして、リンパ節のほうについても、やっぱりこの際、まあ、手術を受ける一つの、何ですか、メリットであります、やっぱりリンパ節についても取って確認をしておきたいと。で、そのことは、その一、性機能の維持ということよりも優先するということに、まあ、考えましたですね。ええ。
8207	8207	37	あの…あのとってしまっただと、ってしまっただと、ああ、よかったとか。再発の心配もしてらでも、やっぱり残してほしいということで、残した人は、よかったとかいろいろなことを言いますけど。…中略…とにかく、性機能を残すという意味合いでも、HIFUは、やっぱり、最高の治療だと確か説明書にも載っていますし、…中略…確かあの、性機能は、一番この残る確率が、全摘手術よりは高いということは書いてありました。現実、私もそれは感じております。
8263	8263	37	先生にもやはり性機能については、あまり聞けないですね。ただ、あのこう、アンケート表はありますね。あの、いろいろ細かいことがあってですね。それを現実にも、自分で聞くことは、やっぱり、その、性に関しては、なかなか聞きづらいというのが、あの、現状です。今も、お話しするのちょっとためらったんですけども。やはり、結構、大事なことかなと思ってですね。あの、HIFUはそのほうでも、一番この何ちいうですね、あの、メリットが高い治療法だということはいったったもんですからね。とってしまうよりは、あの、いいかなということで、その性に関しても、お話ししたんですけども。はい。

男性機能
・性機能

共同研究「高齢者男性の前立腺がん患者のスピリチュアリティとケア支援」

表5 「神・神様・神さま」「仏・仏様」の原文参照

行ID	ID	PC	テキスト
			人間っていうのは、本当、そうして、だから、あの、万物流転とか、諸行無常っていうか。あー、だから、どんな行をやっても、――まあ私はですよ――、どんな行をやったって、 <u>神</u> （かみ）体験というか、悟り体験っていうのはしたってね、続かない。長続きほしくない。…中略…聖性（せいせい）もない。ただ体がさっきの神秘体験か、その神秘体験なんです。そういう神秘体験と同じで、あの、それっきり。…中略…悟ったら、ああ、素晴らしい人格になるってことは、絶対にないと信じていますけどね。
8593	8593	39	あがいたって、暗くうつになったって同じなんですよ、あの世行くときは。だから、もうお任せしますって思った。「がんばらない」という名言がありますが、加えて「欲張らない、あせらない、腹をくくって聞きなおる、人事をつくして天命を待つ、 <u>神</u> の心そのままにお任せします」という言葉が好きです。末期のがんの宣告と、死刑の宣告とそっくりだなと僕は思うんですね。…中略…冤罪（えんざい）の被疑者でも。最後はもう、もう仕方ない、どうにでもなれていうことであきらめ、受容の段階に入るんじゃないかなと思うんです。
8682	8682	40	誰だって死ぬのは怖いし、あのう、天国がある、極楽があるという信念も全然持てないね。…中略…宇宙を司る僕だけの <u>神</u> に従順になり、できれば古里の山のふもとで眠りたい。…中略…天文学のことをテレビなんかで見ているとね。ああ、人間っていうのは、本当にちっぽけで、ゴキブリと同じですよ。全然、価値は変わらない。
1408	1408	8	それはもう、がんのおかげだね。うん。だから、何としても治したいっていうのが今のね。…中略…「お医者さん、お願いします」ですよ。「 <u>神様</u> 、お願いします」ですね。…中略…これががんだな。うん。まあ、そういう意味では、がんになってよかったっていうと言すぎだけど、まあ、よかったっていうことかな、治れば。うん。治ないと、だって、やっぱりな。うん。感謝するってわけにもいかない。
1795	1795	10	手術受けて命を助けてもらったと。これはまだまだ <u>神様</u> が生きよということだというふうにして、これからまだ仕事はやるけど、そういうのを合わせて今後は医療のほうに何か少しでも役に立つようなことが出来たらいいなあ。
6990	6990	31	自分は自分なりの哲学なりを持っています。…中略…余談かもしれませんが、親鸞聖人の本読んで、えーと、人間には、ま、十界という、ま、世界がありますけれども、十界というのは、まあ、 <u>仏様</u> 、 <u>神様</u> であって絶対ですね。…中略…もう自分としては、まあ、自分なりとしては、まあ、その七界から八界ぐらいまでのそこまで行けば、もう最高じゃないかと思えます。
11160	11160	47	あのう、大きくなるのが停止してるのが、1年に1ミリも伸びたら、あと、3年もしたら、頭割って手術せんならんことになりますよね。それが今停止しているわけなん。うん。 <u>神様</u> がね、あなたは賢いからねっていう、ちゃんとしてくれはったんです。まず、 <u>神様</u> を信じてください。
1821	1821	10	うーん。支えねえ。まああの、特に病氣してからはやはりあの手術によって、あの、助けられた、これは <u>神さま</u> がもって生きたということを許してくれたんだというふうにして、あの、生きてきた。
1981	1981	12	私もおやじを非常に尊敬していましたから、そのままを、何とかおやじの年までは、頑張ろうと思っています。これは <u>神さま</u> だけが知っているんで、分かりません。そそかしいから、自動車にはねられるかもしれない（笑）。
4043	4043	22	放射線治療イコール……、ひよっとしたら……、5年生存が2～3割やなしに、5年生存が5割以上に打率が上がったぜっていう希望も。それには結び付きませぬ。結び付くいう、一番それが大事なことなんで。…中略…ただ、こっち（頭）のほうがついていったかどうかはまた別だね、それはもう過去のこと言っても、おー、それこそ <u>神さま</u> 、 <u>神</u> のみぞ知る。今にして思えばという話ばかりですが、そんなもんですかね。
9795	9795	43	ええ、そう、もう、 <u>神さま</u> がそういうふうしてくれたんだから、感謝としてこういう忠告を受けられればいいかなと。そのぐらいでいいかなと、うん。
1127	1127	6	精神的にね、非常にかえって楽といいますかね。えー、 <u>仏様</u> といたらいけないけれども、そういう気分に近い感じになるわけなんですよ。
1404	1404	8	その <u>仏様</u> のところ、ちょっと見ていただくと分かりますけど、自分でこしらえたんです。全部いたすらで、 <u>仏様</u> 、みんな、これ、自分でこしらえた。「ありがとう」と書いてあります。向こうに「ご苦労さま」、その裏側に「おかげさまで」って書いてる。…中略…何でも生きてるっていうことに感謝しようと思ってね。うん。ストレスなくなった。うん。だから、こう、病氣に感謝するって言ったらちょっとおかしいけどね（笑）。でも、そんな気持ち。うん。がんになったので。
1474	1474	8	さっきの <u>仏様</u> の話が出てきたけど、オールマイティーっていうのは <u>仏</u> だけで、あとは、少しでも近づこうっていうことだからな。で、そういうのは、もう昔から、何だろうな。仏教を信じてるわけでも何でもないんだけど、そういう気があるんだなあ。…中略…そういう意味で、こう大きく、人間が大きくっていうかな。そういう豊かな。豊かになっていうのかな。うん。何をしたらこう分かるっていうのかさ。そういう人間になりたいなあっていうの、希望かな。うん。そんなことなったら、それこそ <u>仏様</u> になっちゃうからね（笑）。うん。だから、まあ、そういうことはないんだけど、理想っていうか、希望っていうか。
8293	8293	37	信仰の件、私の場合は約40年前から始めまして、がんと診断されるまであまりきちんとしていませんでしたが、がんを診断された後は初心に戻り、 <u>仏様</u> 、ご先祖様に一心にお願ひし、現在有るは勿論手術してくださった先生のおかげですが、 <u>仏様</u> 、ご先祖様に日々感謝しており、毎日のお勤めもきちんと出来るようになりました。

表6 「自然・宇宙」の原文参照

行ID	I D	P C	テキスト
8593	8593	39	まあ九ごとの人間が、あのう、「意味在り」というふうに感ずるんですね。考えるんじゃなくて、感じられればうつつから抜けられる。うん。で、やっぱりその一番の根源は——ちょっと申し上げにくい言い方かなあ、分からないんですけども、——洋の東西を問わず、やっぱり、あのう、こう自分のアンテナに引っ掛かってくる、いろいろな知覚ってしていますか、五感六感、空間時間概念まで全部含めてですね、そういうものを全部含めて、こう、われわれの、ところでとらえられる直感的な全体像といえますか。…中略…何かこう大きなもの、存在の、環境論なんかの根源の哲学があるかもしれません。…中略…あの、自然…そうそう、このごろその「千の風」っていう歌がね、はやりますでしょう。ちょっと非常に興味深いと思っているんですけどもあー、何か脱線しちゃったかな、かもしれませんけどあの、新井満さん、あの芥川賞作家の方、もう60越えていらっしゃるんですね。あの方が、あー、自分でその原詩を読み、読んで、「ああ、これは死と再生の問題だ」って、彼は書いているんですね。で、死と再生、そんなこと分り切ったことじゃないかと。私は、まあキリスト教だから、そう思うんですけど。…中略…洋の東西を問わずに、ああいう“風”感覚っていいですかね。風っていうのは“響き”感覚っていうか。あそこには、あの、風になるっていうだけじゃなくて、あの、…
8632	8632	39	四季の移り変わりとか、自然現象の中とか、このごろ環境論で言われるようなものの部分に触れるっていうか、そういう形をしない限り、あのう、やっぱりこう、やっぱり精神的な病いというのは、あのう、何か、あの、再開発できないっていうか、そういうふうには思っていますね。だから、あの、やっぱり、…
10408	10408	45	ここは田舎でね、自然が豊かだって、簡単にみんな言いますけども。その豊かさのね、よさが分かっていないっていうか。わたしも自身も含めてね。…中略…もっとう自然っていうか、山っていうか、そういう空間に触れられるチャンスがあったのに、おれはないがしろにしたという後悔。後悔あるって言ったら、唯一後悔はあるっていったら、そういうことだね。やっぱり、健康であることの大切さっていうのは、そういうところで、痛烈に感じるもんですね。
10749	10749	46	自然に生きるってことなのかもしれませんね。人間、やはり自然っていうのは、その、どんなに大きなトラブルがあったり、台風が来ようとか、壊れようとか何しようとか、やっぱり人はその中で生きていかなきゃなんないわけですし、…、何ていうのかな、あの、中で生きてるならばね、やっぱり自分自身がやっぱり自然体で生きるってことがね、いいんだろうし。
11172	11172	47	人生ね、自然が、川が流れるようにね、逆らっても流れます。どーしてもそれに勝つことできないですわ。
8757	8757	40	うん。一般的な…誰だって死ぬのは怖いし、あのう、天国がある、極楽があるという信念も全然持てないしね。そういう点でね、不安ですよ。今、墓なんか造ってないです。宇宙を司る僕だけの神に従順になり、できれば吉里の山のふもとで眠りたい。…中略…土の一部になれば、例え、どぶ川の底にしようがね、山の上にしようがね、同じですよ。ただ、天文学のことをテレビなんかで見ているとね。ああ、人間っていうのは、本当にちっぽけで、ゴキブリと同じですよ。全然、価値は変わらない。
1881	1881	11	がんと言われたらですね。何かね、宇宙人とか、何か別の動物になったような感覚にちょっとなったような気がしたな、うん。それはほかの人にだってあるんじゃないかなあ。

表5、6から「神様・仏様」の前後の言葉は、「まだ神様が生きよということだ」「これは神さまがもっと生きろということを許してくれたんだというふうに思っ」「神さまがそういうふうにしてくれたんだから」「それこそ神さま、神のみぞ知る」「仏様、ご先祖様に一心にお願いし…中略…仏様、ご先祖様に日々感謝しており」「仏様といたらいけないけども、そういう気分に近い感じになる」など、神や仏に生かされているという思いや生かされていることへの感謝、悟りの境地などであった。「自然・宇宙」の前後の言葉は、「洋の東西を問わずに、ああいう“風”感覚っていいですかね。風っていうのは“響き”感覚っていうか。あそこには、あの、風になるっていうだけじゃなくて」「自然に生きるってことなのかもしれませんね」「人生ね。自然が、川が流れるようにね。逆らっても流れます。どーしてもそれに勝つことできない」「宇宙を司る僕だけの神に従順になり、できれば里山のふもとで眠りたい。…中略…土の一部になれば、…中略…人間っていうのは、本当にちっぽけで、ゴキブリと同じですよ。全然、価値は変わらない」などの自然や宇宙から見た人間の存在を表す言葉であった。

【生き方や人生観、死生観などが表現されている言葉】として、「死に方」は4回、「生死・生死観・死生観」は7回、「天国」は3回、「あの世」は1回、「生」は6回、「生きる」は162回、「生き方」は15回、「人生」は69回、他に「人生観」が4回、「人生論」が1回であった。「命」は75回、「生命」は5回、「希望」は51回、他に「光」が9回であった。「感謝」は47回、「生きがい」は6回、「生き

甲斐」は2回、他に「生き甲斐ない」が2回であった。生き方や人生観、死生観のテキストの原文参照を表7に示す。

表7から、「生き方・生死観」の前後の言葉は「生死観っていうんでしょうかね、まあいずれ亡くなるわけですけど、…中略…まあ構えができてくるちゅうんでしょうかね」「この病気を得たことによって、逆に自分の生き方っていうものを少しは真剣に考えれるようになったんじゃないかな」「がんという形を通してね、「おまえさん、もうちょっと生き方を変えな」って、こう言われているような気もするんですね」など、生き方や人生観の変化が語られていた。「死に方・死生観」では、「生死観っていうんでしょうかね、そのまあいずれ亡くなるわけですけど」「人間ていうのはやっぱりいつか死ぬわけですし、生と死という考え方は私、持たないんですよ。…中略…生と死、生死(しょうじ)という。結局生まれたときから生と死は道連れだろうと。やっぱり生きていくっていうのは死に近づくわけですしね」「死生観のこうルールを乗り換える必要がありますね。…中略…やっぱり人生観が変わるっていうか」など、生と死は道連れで、人間は死に向かって生きている存在であることが語られていた。

IV 考察

1 前立腺がん患者のスピリチュアリティ

本研究は、前立腺がん患者の体験に基づく生の声を集めたデータベースであるディベックス・ジャパンのインタビューデータ「前立腺がんの語り」の二次利用をおこない、前立腺がん患者のスピリチュアリティをテキストマイニングの手法を用いて分析した。

表1の感情表現の結果から、「情けない」の前後の言葉は、自分の存在意味の喪失感、がんの否認、自分自身の弱さに対する感情であった。また、「悔しい」の前後の言葉は、「早く受ければよかった」「散々病院を転々とした」など、身体の変化に気づいていたが、受診行動が遅かったことや受診していたにも関わらず発見が遅かったことへの後悔や無念さであった。前立腺がん患者もがん患者の心理と同様に、がんを発症し危機に陥り「悲嘆」、「喪失感」、「絶望感」を感じている。

表2の存在・根源性についての結果から「存在・存在意義・存在証明」の前後の言葉は、「自分の存在、尊厳さ」「自分がこの世に存在していた証みたいなのが残したい」「自分の存在、存在そのものの意味といますか」「自分の存在の根源性」「自分の存在証明といますか、ああいう形でないとできない」など、自尊心や尊厳と関連していた。また、自分の生きた証を残したいという思いが語られていた。前立腺がんにより、自己存在の消滅(他者との関連性の消滅)に伴う漠然とした不安・恐怖が基盤となり、自己統合感・統一感の喪失(自己との関連性の喪失)が生じ(野口ら, 2005)⁹⁾ ていると考えられる。存在の「根源性」に関連する「根源的」の前後の言葉から、「根源的なものに、何かこう、呼応するもの」として、日本人の優しい歌の中にある「響」や「こだま」の中に一緒に入る感覚、つまり、響やこだまとの調和する感覚が語られていることがわかった。響やこだまは目には見えないが身体感覚と調和し、その一体感から自然の中の自分の存在から生かされ

表7 「生き方・人生観・死生観（生死観）」の原文参照

行ID	ID	PC	テキスト	
1742	1742	9	今までの <u>生き方</u> だややはり人生楽しまないとかんということで、自分をコントロールして抑えてよりも、人生楽しんで たく短く生きようなんて考えていたんですけど、今はその考えは一切ありません。	
2571	2571	16	これは私のほうの変化ですけれどもね。あの一、やっぱり、その、うーん、免疫力を高めていくために一番必要なこと は、あの、その、えー、まあ、ストレスを感じないっていう、ストレスのない、あまりストレスに襲われないような、そ ういう <u>生き方</u> っていうのが日常生活の中で必要なんです。…中略…こう日常生活がやっぱり笑顔が多い日常生活のほう が、やっぱりQOLの高い生活だっているように、まあ、その、与えられた、限られた時間ですからね。つまらなくて ね、目くらまされていかんかっていうふうになりましたです、私がね。	
2743	2743	17	この病気を得たことによって、逆に自分の <u>生き方</u> っていうものを少しは真剣に考えられるようになったんじゃないかな。 「残された人生、本当に自分らしく、一生懸命生きなきゃな。こんな病気に負けてたまるかな」っていうような、そんな 気持ちがある、あの、湧いてきたことが、逆に、あの一、今のゆったりとした余裕のある生活を得ることにつながったのかな とってます。	
生き方	7488	7488	33	病気との共存だと思うんですけど、共存の期間がね、あの、平穏、平穏共存ですよ。けんかしての共存じゃなしに、平 穏な共存の期間が長くなるなと思って。でも、こう、争うような共存になってきたときにはもう早く終わらすような、あ の、方法を取りたいなと。…中略…まあはっきり言って僕は他力本願なんです（笑）、そういう、あの、 <u>生き方</u> でええん やないかと思ってますけど。
8636	8636	39	がんという形を通してね、「おまえさん、もうちょっと <u>生き方</u> を変えな」って、こう言われているような気もするんです ね。それが、さっきの、そのクライシスっていうか。危機がね、あの、危機がチャンスというふうにいるのは、そうい う、そういう意味なんですよ。	
10406	10406	45	<u>生き方</u> なんていう大げさな言い方じゃなくて、この病いに対する対応の仕方いいんですよ、それができて、そしてそれ も、家族と共有できて。…中略…自分の好きなこと。で、やっぱり、病気になる前となる、あの、なつてからのその <u>生き 方</u> っていうか、ちょっと変わりましたね。あの、ただ何となく、その仕事のストレス解消のための遊びだったり、生活の しながたがですね、えー、何かこう、ちょっと変わりましたねえ。	
12117	12117	49	まあ、あの、どうなんですかね、 <u>生き方</u> が、生活の仕方が、変わるって、あんまり、こう、細かいことに気が、あの、こ だわってもね、しょうがないよと。ある程度、自分が、あの、規則正しい生活をしてね、おれば、その上の寿命でし ょうから、というふうには思っています。	
生死観	4876	4876	25	まあ前立腺がんはそれでその命を落とすということは、まああまりないだろうし、…中略…楽観的に見てですね、そう ショックではありませんでした。それとまあ、あの、自分の <u>死生観</u> として、これであまその、亡くなるんならそれは しょうがないなという、そういう命の、なんて言いますかね、まああの、ずいぶん楽しく生きてきましたんでね、別にそ う大して未練もなかったっけ。
5058	5058	25	それとやっぱりまあ、えー、 <u>死生観</u> っていうんでしょうかね、そのまあいざいなくなるわけですけど、そのへんについ て、少しずつやっぱりまあ心構えができてくるちゅうんでしょうかね。やりたいことをやっぱりできるだけはっきりし て、やっておくという、そういう、まあ気持ちにまあ徐々に変わってくる。	
1881	1881	11	今は後期高齢者医療とかね、言われて。えー、事前、事前指示書とかね、事前に自分の死に方を書きなさいとか ね。お医者様が書かせるとかね。…中略…やっぱり生きないとね、自分の死は死んだらもう後のことは分かんないんだ から。あの、感覚的になくなっちゃう。もうすべてなくなる。で、あるし、僕はね、ある、死にかけるとですね、あのう、 自分の体はね、もう、あのう、僕を看取ってくれる人のものだという感じがせざるを得ない、せなきゃいけないよなこ とになるかなあというのがあるんです。	
死に方	10749	10749	46	がんになろうとなるまいとね、人間っていうのはやっぱりいつか死ぬわけですし、生と死という考え方は私、持たないん ですよ。あの、「 <u>生死</u> （しょうじ）」という仏教ではよく使いますけどね、 <u>生と死</u> 、 <u>生死</u> （しょうじ）という。結局生まれ たときから <u>生と死</u> は道連れだろうと。やっぱり生きていくっていうのは死に近づくわけですしね、そこどころがね、 <u>生 と死</u> という対決したもので見ていくと悩みが出てくるし、苦しみがでてくると思うんです。やっぱりそういうもんだと 思っていけばね、そこに死が身近にあらうと先にあらうとね、それはもう避けて通れないっていうのかな、それは当たり 前のことだと思えばね、そんなに悩むこともないのかな、と私は思います。あの一、日本人、あんまり死ということを 考えませんからね。いつまでも生きて、生きられるんじゃないかって、
死生観	8605	8605	39	<u>死生観</u> といいますが、 <u>死生観</u> のこうルールを乗り換える必要がありますね。うーん。だから、そのルールを乗り換えるとい うことはどうということかな。やっぱり人生観が変わるっていうか。何か、あの、今までやっぱり自、自己中心という か。現代的自我とでもいうか。その周辺で物を考えていたものをポイントとそれを捨てるとうか。捨てる必要はないんで しょうけども、あの、そういうことにやっぱりなるんじゃないか。
天国	8757	8757	40	うん。一般的な…誰だって死ぬのは怖いし、あのう、天国がある、極楽があるという信念も全然持てないしね。そうい う点でね、不安ですよ。今、墓なんか造ってないです。宇宙を司る僕だけの神に従順になり、できれば古里の山のももど 眠りたい。土の一部になれば、例え、どぶ川の底にしようがね、山の上によいようがね、同じですよ。ただ、天文学のこ とをテレビなんかで見ているとね。ああ、人間っていうのは、本当にちっぽけで、ゴキブリと同じですよ。全然、価値は変 わらない。
あの世	8682	8682	40	あがいたって、暗くうつなっただって同じなんです、あの <u>世</u> 行くときは。だから、もうお任せしますって思った。「が んばらない」という名言がありますが、加えて「欲張らない、あせらない、腹をくくって聞きおろ、人事をつくして天 命を待つ、神のみ心のままにお任せします」という言葉が好きです。末期のがんの宣告と、死刑の宣告とそっくりだなと 僕は思うんです。…中略…冤罪（えんざい）の被疑者でも。最後はもう、もう仕方ない、どうにでもなれっていうこと であきらめ、受容の段階に入るんじゃないかなと思うんです。

ていることを実感し、悟りの境地のようなものを体感する（和ら、2014）¹⁰ と考える。身体という物体は消滅するが、生きた証は残ると思えば死は怖いものでなくなり、恐怖を希望や光に変え、悟りや達観につながると考える。

表3、4の自分らしさや性機能の表現から、「男性機能・性機能」「自分らしさ・男らしさ」の前後の言葉は、「自分らしく、やりたいように生きていきたいな」「残された人生、本当に自分らしく、一生懸命生きなきゃな」など、自分らしさを問い、自分らしく生きることに向きあっていた。「男らしさ」については、男性機能を喪失することへの寂しさや残したいという強い思いが語られる一方で、執着しない、意識していなかった、性機能よりも命を優先したなどが語られていた。男性機能の喪失は、寂しさを感じるもの前立腺がん発症の年齢的なものもありそれほど執着しないことが示唆された。

表5、6の神仏と自然・宇宙に関する表現から「神様・仏様」の前後の言葉は、「まだ神様が生きよということだ」「これは神さまがもっと生きろということを許してくれたんだというふうに思っ」「神さまがそういうふうにしてくれたんだから」「それこそ神さま、神のみぞ知る」「仏様、ご先祖様に一心にお願いし…中略…仏様、ご先祖様に日々感謝しており」「仏様といたらいけないけども、そういう気分に近い感じになる」など、神や仏に生かされているという思いや生かされていることへの感謝、悟りの境地などであった。「自然・宇宙」の前後の言葉は、「洋の東西を問わずに、ああいう“風”感覚っていいですかね。風っていうのは“響”感覚っていうか。あそこには、あの、風になるっていうだけじゃなくて」「自然に生きるってことなのかもしれませんね」「人生ね。自然が、川が流れるようにね。逆らっても流れます。どーしてもそれに勝つことできない」「宇宙を司る僕だけの神に従順になり、できれば里山のふもとで眠りたい。…中略…土の一部になれば、…中略…人間っていうのは、本当にちっぽけで、ゴキブリと同じですよ。全然、価値は変わらない」などの自然や宇宙から見た人間の存在を表す言葉であり、その存在の小ささに気づかされ、生きることの意味や自分の存在意義や意味、人生観や価値観の見直しがなされることがわかった。

表7の死生観に関する表現から、「生き方・生死観」の前後の言葉は「生死観っていうんでしょうかね、まあいずれ亡くなるわけですけど、…中略…まあ構えができてくるちゅうんでしょうかね」「この病気を得たことによって、逆に自分の生き方っていうものを少しは真剣に考えられるようになったんじゃないかな」「がんという形を通してね、「おまえさん、もうちょっと生き方を変えな」って、こう言われているような気もするんですね」など、生き方や人生観の変化が語られていた。「死に方・死生観」では、「生死観っていうんでしょうかね、そのまあいずれ亡くなるわけですけど」「人間っていうのはやっぱりいつか死ぬわけですし、生と死という考え方は私、持たないんですよ。…中略…生と死、生死（しょうじ）という。結局生まれたときから生と死は道連れだろうと。やっぱり生きていくっていうのは死に近づくわけですしね」「死生観のこうルールを乗り換える必要がありますね。…中略…やっぱり人生観が変わるっていうか」など、生と死は道連れで、人間は死に向かって生きている存在であることが語られていた。このことから前立腺がんという病に罹り自分の存在について考え、生かされていることに気づき、生き方や死生観が変わることがわかった。

以上のことから前立腺がん患者のスピリチュアリティは、自己存在の根源性に気づき生き方や死生観を見直し、変化させる機能をもつことが示唆された。この機能を生かして、その人が納得した治療を受け、その人らしい生き方ができるように支援することが必要である。

2 全体考察と実践的意義

本研究において、前立腺がん患者のスピリチュアリティは、窪寺（2004）⁸⁾の定義と同様に自分の存在や意味などを究極的な自己・本当の自己・内的自己、つまり自分自身に求めたり、神や仏など超越的なものに求める機能であり、前立腺がんを発症する前の価値観や生き方や人生観、死生観に変化を与えることが確認できた。前立腺がん患者のスピリチュアリティの機能の明確化は、支援者側にとって心理・社会的介入における重要な要素を導き出すきっかけになった。

V 本研究の限界と今後の課題

本研究の分析対象者は、男性のみで前立腺がん患者であった。従って、今後は女性に多い、乳がん患者についての検討も視野に入れる必要がある。また、当事者と当事者を支える家族との関連性についても検討し、当事者と家族への支援についての研究がなされなければならないと考える。

謝辞

論文作成にあたり、認定NPO法人 健康と病いの語りディベックス・ジャパンが運営する「健康と病いの語りデータアーカイブ」の語りのデータを二次的利用させていただきましたことを深く感謝いたします。また、研究にあたり、ご指導・ご助言くださいました諸先生方に心より感謝申し上げます。

引用文献

- 1) 全国がん登録 罹患数・率報告 CANCER INCIDENCE OF JAPAN 2017, <https://www.mhlw.go.jp/> 2021.11.25.
- 2) がんの統計2021 <https://ganjoho.jp/> 2021.11.25.
- 3) 山崎章恵, 丹後キヌ子 (2019). 前立腺全摘除術後患者のQOLとセルフケアの実態, 共立女子大学・共立女子短期大学総合文化研究所紀要, 第25号, 29-37.
- 4) 健康の定義 <https://japan-who.or.jp/> 2021.11.25.
- 5) WHO憲章における「健康」の定義の改正案について <https://www.mhlw.go.jp/> 2021.11.25.
- 6) いたうたけひこ, 大高庸平 (2014). 乳がんと前立腺がんの語りにおける性差－テキストマイニングによるDIPEX - Japanの分析, 和光大学現代人間学部紀要, 第7号, 229 - 244.
- 7) 丹後キヌ子, いたうたけひこ, 佐口清美 (2019) テキストマイニングによるスピリチュアルペインに関する看護文献研究－医中誌における論文タイトルの分析より, マクロ・カウンセリング研究, 第12巻, 16-27.
- 8) 窪寺俊之 (2004), スピリチュアルケア学序説, 三和書店, 東京.
- 9) 野口海, 赤澤輝和, 松島英介 (2005), がん患者に対するスピリチュアルケア, 緩和医療学, vol7, no2, 48 (164) -55 (171).
- 10) 和秀俊, 廣野正子, 遠藤伸太郎 (2014), 日本人の持つスピリチュアル概念構造の探索的な分析－心の問題から生じる社会問題の解決に向けて, 立教大学コミュニティ福祉学部紀要, 第16号, 39-50.

An Analysis of Prostate Cancer Patients' Narratives of Health and Illness: Focusing on Spirituality

Kinuko Tango Takehiko Ito

The purpose of this study was to clarify the spirituality of prostate cancer patients using the interview data "Narratives of Prostate Cancer" from DIPEX-Japan. For the analysis, we used text mining methods, especially the original text reference function, to extract relevant word expressions. The following words were selected: negative emotion, root/relationship, humanity, male function, God and Buddha, nature/universe, and view of life and death. By analyzing the health and illness narratives of prostate cancer patients, it was confirmed that the function of spirituality is to review and change the values, views of life and death that existed before the onset of the disease. We believe that understanding how patients review their values, views of life and death will provide an opportunity for supporters to derive elements for intervention.